



発行所 福井県大野郡 和泉村公民館 印刷所 松浦印刷所

昭和39年1月1日現在 住民登録人口 5,644 男 2,820 女 2,824 世帯数 1,314 面積 932.26平方キロ

公民館強調目標

- 公民館運動の推進
一、各学級には進んで出席しましょう。
一、余暇を善用致しましょう。
一、いろいろなよおしには、みんな出席しましょう。

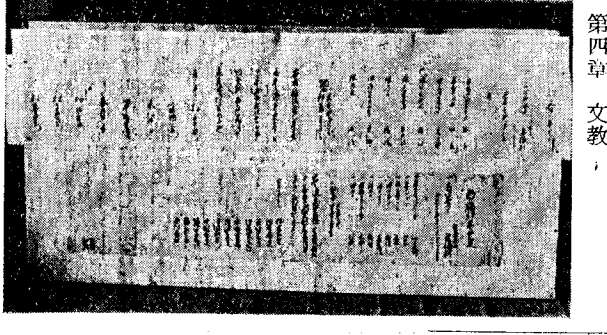
和泉村村誌編さんに着手

全村民の協力を

終戦後、合併促進法が施行されて市町村が夫々合併を行い、市町村の規模が非常に大きくなり、市は申すに及ばず、この町や村でも市町村誌がつくられております。ところで和泉村も合併後、時や折にふれて村誌編さんの声は聞かれたのであります。...



暖冬異変で狂い咲きのつばき (下半原にて)
調査不能となるために、益々村誌の編さんの要請が急がれることとなりまして、ところが水没者や水没地のみを対象にしたものではあります。...



以上のようなものでありまして今後更に調査し資料を収集して、内容の充実した村誌を編さん致したいのであります。世に知らされたいのであります。
(写真は古文書や資料の一部)



朝日区民の新春放談会

- 第五章 産業
第六章 各種公共体
第七章 交通、郵政
第八章 厚生、労働、保安
第九章 兵事
第十章 穴馬文化
その一 文化の推移(衣食住の歴史や現況)
その二 神社仏事の古事伝説
その三 一般の古事伝説
その四 方言民謡、盆踊民謡
その他、面谷飯山、中龍飯山の歴史や現況
文芸、刑罰、貨幣、昔の法命布令
仏教における穴馬の歴史と年貢
租税と年貢

新春の三日、例年比べて降雪は全くなく、小春日和の様な好天気続きのめずらしいお正月に朝日部落では区民全戸が道場集り、初の新春放談会を催しました。...



(写真は朝日区民の放談会の一コマ)

ご成人おめでとう

- 「成人」なんというすばらしい魅力でしょう。ことばのヒビキのすばらしさ、皆さんは、まことにその「成人」です。祝日「成人の日」は国をあげてそのお祝いです。心からお喜び申し上げます。思いますに、「はたち」前後のありかたは、なごく生涯の命運をも左右いたします。しかも民族の期待と郷土の信頼とは、今や若いあなたがたに集つています。ねがわくば、青春の夢に忠実に、一そう自愛自重、自奮自励されませう。せつにお祈りしてやみませぬ。

- 中森とき子 中山 若枝
森田美智子 林 紀美江
中森 和子 若山 征子
荷暮 坂下三重子 島内 雅美
池ヶ島 山本 豊
勢柄恵美子 勢柄美登利
池田 清忠 勢柄由美子
木地光利男
持穴 清水 淳二 阿部 昌代
布尻美津子 山本 芳龍
大谷 小川美栄子 若林 勝子
黒古はるよ 長谷川初子
澤沢 敏子 中山 一郎
影路 古川 真澄
伊勢 丹羽 和子

村民の声

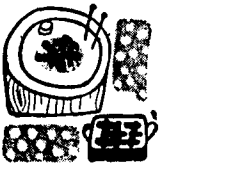
地域性をなくする よう家庭の協力を

移住と子供の教育

ダム問題もいよいよ大詰、そろそろ移住先も決めなければならぬ段階になりましたが、それにつけても、学童をもたれる方々にとつて、こんな山の中の学校から町へ行って果たして、とか、文化の遅れた穴馬の子供と広い土地の子供を比べたら...

学校教育に於いてもその点に留意し、極力こうした地域性を除去するよう心がけて指導してまいります。家庭に於いても、充分御理解がわくば、青春の夢に忠実に、一そう自愛自重、自奮自励されませう。せつにお祈りしてやみませぬ。

- 成人式行事は四月上旬に予定しております。
○東市布 田中佳代子
○上半原 古川 真澄
○下半原 丹羽 和子



久沢 康彦 尾崎 鈴子
高瀬 洋子
長野 守男
川端 信孝
山田 節子 藤田 新一
板倉 信孝
朝日 光司 尾崎 甫夫
見島 邦夫
川合 悦子 平野 麗子
新井 悦子
貝皿 朋子
洞口 朋子
後野 鈴代 知野 勝治
清水 朝子 古島 八重子
古島 花子
角野前坂 宮内 幸男
小谷堂 山崎 章徳
三面 上村 豊彦
中竜 牧野 都子 坂井 瑛夫
宮腰 春一 青柳 卓男
上大納 中島 勝重 吉本 征一
古川 忠範

